

# 明治期前半におけるフランス民法原文 訳文3種対照表 —近代訳語研究のために—

南雲 千香子

## はじめに

筆者は明治期における法律用語の成立・定着という観点から、当時フランス民法が法学者たちによってどのように翻訳されたのか、その語彙面の調査・考察を行っている。本稿では、その調査過程で得られた基礎データを公開し、考察の論拠を示したい。

明治初期において、日本はフランス法を軸としながら、日本独自の近代法の制定に心血を注いでいた。その状況下で、箕作麟祥の訳した『仏蘭西法律書』、その中でも特に「民法」は日本法の近代化に大きな影響をもたらした。その一方で、司法官、加太邦憲は箕作の箕作の初訳版のフランス民法の訳が意識的であり、「字句明確を欠きし所多き」として異議を唱え、独自にフランス法を翻訳し、『仏蘭西民法』として刊行した。

筆者は箕作麟祥訳『仏蘭西法律書 民法』（明治4年刊）の第1巻の第1条～第54条の訳語その改訂版の『増訂仏蘭西法律書 民法』（明治16年刊）の該当部分の訳語と加太邦憲『仏蘭西民法』（明治16年刊）の該当部分の訳語の比較を行い、2015年6月13日開催の第47回語彙・辞書研究会（於：新宿NSビル）において「明治期前半におけるフランス民法の翻訳の差異—箕作麟祥訳『仏蘭西法律書 民法』と加太邦憲訳『仏蘭西民法』—」という題で口頭発表を行った。その要旨は以下の通りである。

- ・加太が箕作明治4年訳に対して改訳したいと考えている箇所は、箕作自身も改訳したいと考えていた部分と重なる部分が多い。
- ・制度・組織名については箕作も加太も現行の名称に合わせようという意識が強く働いている。
- ・箕作は改訳の際、和語や句訳などを比較的多く使用しているが、加太は漢語に改訳することを重視している。

本稿では語彙・辞書研究会の場では、時間及び配布資料の紙幅の上公表出来なかった、発表の基礎データを示し、研究結果の妥当性を示すと同時に、近代語研究および法制史・日本史研究のための資料提供として、箕作麟祥訳『仏蘭西法律書 民法』（明治4年

刊)の第1巻(第1条～第55条)と箕作麟祥訳『増訂仏蘭西法律書 民法』(明治16年刊)および加太邦憲訳『仏蘭西民法』(明治16年刊)の該当条部分、及び明治4年刊『仏蘭西法律書 民法』のフランス原文であるRoyer-Collard "*Les Codes Français*"(1868)を対照表の形で掲載する。

## 資料について

ここで本稿で用いた資料について少し触れておきたい。

『仏蘭西法律書 民法』(明治3年刊)

明治の法律家、箕作麟祥によって翻訳された日本初フランス民法典(いわゆるナポレオン法典)の日本語訳である。『仏蘭西法律書』は刑法、民法、憲法、商法、訴訟法、治罪法からなり、今回取り上げた民法はその一連の『仏蘭西法律書』シリーズの1つである<sup>1</sup>。和装本で全16巻から成る。原本はRoyer-Collard 編纂の"*Les Codes Français*"(1868)である。

『仏蘭西民法』(明治16～18年刊)

司法官加太邦憲<sup>2</sup>によるフランス法の日本語翻訳である。加太は箕作が翻訳した『仏蘭西法律書』に不満を持っていたことが自伝『自歴譜』に残っている。

十六年十二月、『仏国民法条文』訳成り、私にこれを出版す。『仏国民法条文』は曩に箕作麟祥の訳書ありしが、明治初年のものに係り、意識的にして字句明確を欠きし所多きより、同窓中村健三と再訳を企てたるなり。故に該翻訳については文は原文に比適することを勉め、語は一々明確の訳語を該めることを勉めしも、如何せん当時訳語未だ一定し居らざれば、或いは漢学者に質し、或いは支那学者に計り、千辛万苦の末数多の新熟語を作り、漸くにしてその目的を達したり。(加太邦憲『自歴譜』pp.121-122)

このように加太は、箕作のフランス民法の訳が意識的であるとして、再訳を試みたことを

---

1 箕作麟祥及び『仏蘭西法律書』に関しては、南雲千香子『『仏蘭西法律書 訴訟法』における翻訳の方法—英語系辞書使用の観点から—』(『国語と国文学』91-3、2014年)に詳しく述べて。

2 加太邦憲(かぶと-くにのり)1849-1929

明治時代の司法官。嘉永2年5月19日伊勢生まれ。司法省明法寮などで学び、司法権少書記官などを歴任。明治19年フランス、ドイツに留学。帰国後、京都、東京の地方裁判所長を経て大阪控訴院長となる。43年貴族院議員。

述べている。なお原本は Louis Tripier 編纂の"*Les Codes Français*"<sup>3</sup>である。

『増訂仏蘭西法律書 民法』（明治16年刊）

箕作麟祥による、上記の『仏蘭西法律書』の増訂版である。洋装本上下2巻<sup>4</sup>からなる。原本は Hippolyte Féréol Rivière 編纂の"*Codes Français*"<sup>5</sup>である。箕作は最初に翻訳した『仏蘭西法律書』に不備を感じ、『増訂仏蘭西法律書』を刊行したと見られる。緒言には以下のようにある。

此書前版ハ予往年官ノ命ヲ奉シ翻訳シタルモノニシテ世ニ行ハルハコト既ニ久シク且多シ我邦当時外国法典ノ何物タルヲ知ラス其法律語ノ如キハ未タ片言隻辞モ有ラサリシト謂フモ可ナリ故ニ前書ハ人ヲシテ了解シ易カラシメンカヲ為メ専ラ意識ヲ以テシ唯原意ニ齟齬セサランコトヲ務メタリ今之ヲ原文ニ対照スルトキハ間々語勢ノ緩急過不及アルノミナラス往々誤解ニ陥ルヲ免カレサルモノアリ爾来我邦ノ法律学日ヲ追テ進歩シ其法律語ノ如キモ略々備ハルニ至レリ因テ今次ノ翻訳ハ前ノ為ス所ニ反シ専ラ直訳ヲ旨トシ猶写真ノ真影ヲ写シテ少差ナキカ如クナランコトヲ期セリ

この緒言によれば、箕作自身も『仏蘭西法律書』が意識的であったことについて自覚があり、『増訂仏蘭西法律書』ではより直訳を目指したとの記述が残っている。

### 3種対照表

凡例

- ・ 箕作麟祥訳『仏蘭西法律書 民法』（明治4年刊）の第1巻の第1条～第54条と箕作麟祥訳『増訂仏蘭西法律書 民法』（明治16年刊）および加太邦憲訳『仏蘭西民法』（明治16年刊）の該当条部分、及び明治4年刊『仏蘭西法律書 民法』のフランス原文である Royer-Collard "*Les Codes Français*" (1868)の該当部分を掲載する。また、『増訂版仏蘭西法律書 民法』の原文である、Hippolyte Féréol Rivière 編"*Codes Français*" (1883)も参照し、相違部分を適宜補った。
- ・ 片仮名、漢字は通用の字体に改めた。また合字は現行の片仮名に改めた。

---

3 但し、どの版を用いたかについては明らかになっていない。

4 上巻（憲法・民法）、下巻（商法・訴訟法・治罪法・憲法）からなる。

5 前述の Tripier の *Les Codes Français* と同様、どの版を利用したのかは明記されていないが、箕作旧蔵本（東京大学蔵）から、少なくとも箕作は1886年版の Rivière 編纂"*Codes Français*"を所有していたことが明らかになった。

- ・割書は〈 〉で表し、傍訓は【 】で表した。
- ・『増訂版仏蘭西法律書 民法』の原文である、Hippolyte Féréol Rivière 編の"Codes Français"と、Royer-Collard 編の"Les Codes Français"とで相違がある場合は、Royer-Collard 版の該当箇所の下線を引き、《 》に Rivère 版での相違点を示した。
- ・私に読点を補った部分がある。

条数	フランス原文	算作4年	算作16年	加太
1	<p>Les lois sont exécutoires dans tout le territoire français, en vertu de la promulgation qui en est faite par l'Empereur (Roi (le Président de la République.))</p> <p>Elles seront exécutées dans chaque partie de l'Empire (du Royaume (de la République)), du moment où la promulgation en pourra être connue. La promulgation faite par l'Empereur (Roi (le Président de la République)) sera réputée connue dans le département de la résidence impériale (résidence royale), un jour après celui de la promulgation: et dans chacun des autres départements, après l'expiration du même délai, augmenté d'autant de jours qu'il y aura de fois dix myriamètres. (environ vingt lieues anciennes) entre la ville où la promulgation en aura été faite, et la chef-lieu de chaque département.</p>	<p>法律ハ皇帝ヨリ為シタル布告ニ因リ仏蘭西全国ニ於テ之ヲ行フ可シ。</p> <p>法律ハ其布告ヲ知ルコトヲ得タル時ヨリ國中ノ各所ニ於テ之ヲ行フ可シ。</p> <p>皇帝ヨリ為シタル布告ヲ皇帝ノ在所ノ「デパルトマン」ノ各所ニ於テ之ヲ行フ可シ。</p> <p>「アルロンチスマン」数箇ヲ併セタルモノヲ云フニ於テハ其布告ノ翌日之ヲ知ルコトト看做シ他ノ「デパルトマン」ニ於テハ其布告ヲ為シタル都府ト各「デパルトマン」ノ首府トノ間ノ路程ニ從ヒ一日二十「ミリヤメートル」ハ一「メートル」ヲ云ヒ大凡我カ二里半一町ニ当ルニ「大抵古ノ二十「リーウ」」ノ距離ヲ以テ其日数ヲ累ネシ翌日ニ之ヲ知ルコトト看做ス可シ。</p>	<p>法律ハ国王（共和国大統領）ヨリ為シタル宣令ニ拠リ仏蘭西領地ノ全部ニ於テ執行ス可キモノトス。</p> <p>○法律ハ其宣令ヲ知ルコトヲ得タル時ヨリ王国（共和国）中ノ各部ニ於テ之ヲ執行ス可シ。</p> <p>国王（共和国大統領）ヨリ為シタル宣令ハ国王所在ノ州ニ於テハ其宣令ノ日ノ次日ニ之ヲ知リタルト看做ス可ク又其他ノ各州ニ於テハ宣令ヲ為シタル都府ト各州ノ首地トノ間ニ二十「ミリヤメートル」（大抵古ノ二十「リーウ」）ノ路程毎ニ之ニ応スル日数ヲ増加シタル同上ノ期限ノ終リシ後ニ之ヲ知リタルト看做ス可シ。</p>	<p>法律ハ国王ヨリ為シタル頒布ニ因リ仏蘭西全国内ニ之ヲ執行ス可シ。</p> <p>法律ハ其頒布ヲ知ルルヲ得キ時ヨリ王国ノ各部ニ於テ之ヲ執行ス可キモノトス。国王ヨリ為シタル頒布ハ王居アル県【左訓ノデパルトマン】ニ於テハ頒布ノ日ヨリ一日後其他ノ県ニ於テハ頒布ヲ為シタル都府ト各県ノ首府トノ間十「ミリヤメートル」ノ距離ニ至ルニ至リテハ一日ノ猶予ヲ加ヘタル上尚ホ一日ノ期限ノ尽キタル後之ヲ知リタルト推測ス。</p>

2	La loi ne dispose que pour l'avenir; elle n'a point d'effet rétroactif.	法律ハ将来ノ事ヲ定ルノミニシテ之ヲ既往ニ施行ス可カラス。	法律ハ将来ノ為メノミニ制定シ既往ニ及ホス効ヲ有セス。	法律ハ将来ヲ規定スルノミニシテ効ヲ既往ニ生セズ。
3	Les lois de police et sûreté obligent tous ceux qui habitent le territoire. Les immeubles, même ceux possédés par des étrangers, sont régis par la loi française. Les lois concernant l'état et la capacité des personnes régissent les Français, même résidant en pays étranger.	取締ノ法律及ヒ國中安寧ノ事ニ管スル法律ハ仏蘭西領地内ニ居住スル者皆之ヲ循守ス可シ。不動産<土地家屋等ノ搬運ス可カラザル物ヲ云フ>ハ外国人ノ所有スル物ト雖モ仏蘭西ノ法ヲ以テ之ヲ支配ス可シ。人ノ身分及ヒ身位ニ管シタル法律ハ外国ニ居住スル者ヲ問ハス各仏蘭西人ヲ支配ス可シ。	警察及ヒ安寧ノ法律ハ凡ソ領地内ニ住ス各人ヲ羈勒ス。不動産ハ外国人ノ占有スルモノト雖トモ仏蘭西ノ法律ヲ以テ之ヲ管理ス。人ノ身分及ヒ能力ニ関スル法律ハ外国ニ居住スル者ト雖トモ仏蘭西人ヲ管理ス。	警察及ヒ安寧ニ関スル法律ハ国内ニ居住スル者皆之ヲ循守ス可シ。不動産ハ外国人ノ所有スルモノト雖トモ仏蘭西ノ法律ヲ以テ之ヲ管理ス。人ノ身分及ヒ能力ニ関スル法律ハ外国ニ居住スル者ト雖トモ総テ仏蘭西人ヲ支配ス。
4	Le juge qui refusera de juger, sous prétexte du silence, de l'obscurité ou de l'insuffisance de la loi, pourra être poursuivi comme coupable de déni de justice.	法律ノ不備、法律ノ不委、法律ノ所欠ヲ以テ口実ト為シ裁判ヲ為スコトヲ肯セサル裁判役ハ漫ニ裁判ヲ為サバルノ罪アリト為シ訴訟ヲ受ク可シ。	法律ノ欠缺、不明又ハ不備ヲ以テ口実トシ裁判スルヲ否拒スル所ノ裁判官ハ裁判否拒ノ罪アリトシテ訴ヲ受ク可シ。	法律ノ虧缺、不明又ハ不備ヲ以テ口実トシ裁判ヲ為スヲ拒ミタル裁判官ハ裁判拒絶ノ罪アリトシテ訴ヲ受ク可シ。
5	Il est défendu aux juges de prononcer par voie de disposition générale et réglementaire, sur les causes qui leur sont soumises.	裁判役ハ己レニ告白セシ訴訟ニ付キー般ノ規則ヲ定ム可キ方法ヲ以テ其裁判ヲ言渡ス可カラス。	裁刻官其申告ヲ受ケタル訴訟ニ付キ広博ニシテ且ツ規則トナル可キ制定ノ方法ヲ以テ宣告スルコトヲ禁ス。	裁判官ハ申告ヲ受ケタル訴訟ニ付一般ノ例規ヲ定ムル方法ヲ以テ裁判言渡ヲ為ス可カラス。
6	On ne peut déroger, par des conventions particulières, aux lois qui intéressent l'ordre public et les bonnes mœurs.	私ニ為シタル契約ヲ以テ公ケノ安寧及ヒ風儀等ニ管スル法律ヲ犯ス可カラス。	私シノ合意ヲ以テ公ケノ秩序及ヒ善良ノ風儀ニ関スル法律ニ違背スルコトヲ得ス。	私ノ契約ヲ以テ一般ノ秩序及ヒ風俗ニ関スル法律ニ戻ル可カラス。
第1篇	Des personnes.	人事	人	人事

第1巻	De la jouissance et de la privation des droit civils. Décrété le 8 mars 1803(17 ventôse au XI), promulgué le 18 du même mois(27 vent. au XI).	民権ヲ受ル事、民権ヲ奪フ事〔千八百三年三月八日決定同月十八日布告〕	民権ノ享有及ヒ剝奪（千八百三年三月八日決定同月十八日宣令）	私権ノ得有及ヒ剝奪（千八百三年三月八日決定同月十八日頒布）
第1章	De la jouissance de droits civils.	民権ヲ受ル事	民権ノ享有	私権ノ得有
7	L'exercice des droits civils est indépendant de la qualité de <i>citoyen</i> , laquelle ne s'acquiert et ne se conserve que conformément à la loi constitutionnelle.	民権ヲ行フハ国民【左訓ノシトワイヤン】<国ノ戸籍ニ入りテ民権及ヒ政権ヲ行フコトヲ得可キ人民ヲ云>タルノ分限ト相管スルコト無シ。但シ国民【左訓ノシトワイヤン】タルノ分限ハ建国ノ法ニ因テノミ之ヲ得且之ヲ有ス可キモノナリ。	民権ノ執行ハ国士タルノ分限ト相関スルコトナシ。但シ国士タルノ分限ハ憲法ニ依テノミ之ヲ獲得シ及ヒ之ヲ保存スルモノトス。	私権ノ執行ハ国士タルノ資格ニ関係セス国士タルノ資格ハ憲法ニ因テノミ之ヲ獲得保有スルモノトス。
8	Tout Français jouira des droits civils.	各仏蘭西人ハ民権ヲ受ク可シ。	仏蘭西人ハ民権ヲ享有ス可シ。	仏蘭西人ハ皆私権ヲ得有ス可シ。
9	Tout individu né en France d'un étranger pourra, dans l'année qui suivra l'époque de sa majorité, réclamer la qualité de Français; pourvu que, dans le cas où il résiderait en France, il déclare que son intention est d'y fixer son domicile, et que, dans le cas où il	仏蘭西ニ於テ生レシ外国人ノ子ハ丁年<二十一歳ノ齡ヲ云>ニ至リシ其翌年仏蘭西人タルノ分限ヲ得ント求ムルコトヲ得可シ。但シ其求ムル所ヲ得ント欲スルニハ其者ノ仏蘭西ニ居住スル時ハ仏蘭西ニ其住所ヲ定ム可キノ意タルコトヲ陳述シ又外国ニ居住スル時ハ仏蘭西ニ	凡ソ仏蘭西ニ於テ生レタル外国人ノ子ハ其成年ノ時期ニ至リシ時ヨリ一年内ニ仏蘭西人タルノ分限ヲ得ント求ムルコトヲ得可シ。但シ之レカ為メニハ其者ノ仏蘭西ニ居住スル場合ニ於テハ仏蘭西ニ其住所ヲ定ム可キノ意思タルコトヲ申述シ又其者ノ外国ニ居住スル場合	仏蘭西ニ於テ生レタル外国人ノ子ハ丁年ニ至リシ時ヨリ一年内ニ仏蘭西人タルノ資格ヲ得ンコトヲ要ムルヲ得。但シ其者仏蘭西ニ居住スル時ハ仏蘭西ニ住所ヲ定ムルノ意アルコトヲ陳述ス可ク又外国ニ住スル時ハ仏蘭西ニ住所ヲ定ム可

9	résiderait en pays étranger, il fasse sa soumission de fixer en France son domicile, et qu'il l'y établisse dans l'année, à compter de l'acte de soumission.	其住所ヲ定ム可キノ証書ヲ出シテ其時ヨリ一年内ニ仏蘭西ニ住所ヲ定ムルコトヲ必要ナリトス。	ニ於テハ仏蘭西ニ其住所ヲ定ム可キノ約務ヲ為シテ其約務ノ証書ヨリ起算シテ一年内ニ仏蘭西ニ其住所ヲ設定スルコトヲ必要トス。	可キノ証書ヲ出タシ其時ヨリ一年内ニ仏蘭西ニ住所ヲ定ム可シ。
10	Tout enfant né d'un Français en pays étranger est Français. Tout enfant né, en pays étranger, d'un Français qui aurait perdu la qualité de Français, pourra toujours recouvrer cette qualité, en remplissant les formalités prescrites par l'article.	外国ニ於テ生レタル仏蘭西人ノ子ハ仏蘭西人ナリ。仏蘭西人タルノ分限ヲ失ヒシ仏蘭西人ノ外国ニ於テ生ミタル子ト雖モ前条ニ記載シタル式ヲ行フニ於テハ何レノ時ヲ論セズ仏蘭西人タルノ分限ヲ復スルコトヲ得可シ。	凡ソ外国ニ於テ生レタル仏蘭西人ノ子ハ仏蘭西人ナリ。凡ソ仏蘭西人タルノ分限ヲ失ヒシ仏蘭西人ノ外国ニ於テ生ミタル子ハ何時ニ限ラス第九条ニ定メタル法式ヲ履行スルニ於テハ右ノ分限ヲ復スルコトヲ得可シ。	総テ外国ニ於テ生レタル仏蘭西人ノ子ハ仏蘭西人ナリ。仏蘭西人タル資格ヲ失ヒタル仏蘭西人ノ外国ニ於テ生ミタル子ハ常ニ第九条ニ記スル法式ヲ履行シテ仏蘭西人タル資格ヲ復スルヲ得。
11	L'étranger jouira en France des mêmes droits civils que ceux qui sont ou seront accordés aux Français par les traités de la nation à laquelle cet étranger appartiendra.	外国人ハ其本国ト仏蘭西ト結ビタル条約ニ因リ其国ニ於テ仏蘭西人ノ受ケ又ハ受ケ可キ所ニ等シキ民権ヲ仏蘭西ニ於テ受ケ可シ。	外国人ハ其所属本国ノ条約ニ依リ仏蘭西人ニ附与シ又ハ附与ス可キモノニ同シキ民権ヲ仏蘭西ニ於テ享有ス可シ。	外国人ハ其本国ト仏蘭西トノ条約ニ因テ其国ニ於テ仏蘭西人ニ授与シ又ハ授与スヘキ私権ト同一ノ私権ヲ仏蘭西ニ於テ得有ス可シ。
12	L'étranger qui aura épousé un Français, suivra la condition de son mari.	仏蘭西人ニ嫁シタル外国ノ女ハ其夫ノ分限ニ従フ可シ。	仏蘭西人ニ嫁シタル外国ノ女ハ其夫ノ景状ニ従フ可シ。	仏蘭西人ニ嫁シタル外国ノ女ハ夫ノ身分ニ従フ可シ。
13	L'étranger qui aura été admis par l'autorisation	皇帝ノ允許ヲ受ケ仏蘭西ニ其住所ヲ定	国王（共和国大統領）ノ許可ニ依リ仏蘭西ニ	国王ヨリ仏蘭西ニ住所ヲ定ムル

13	de l'Empereur 《Roi (du Président de la République) à établir son domicile en France, y jouira de tous les droits civils tant qu'il continuera d'y résider.	ムルコトヲ得タル外人ハ仏蘭西ニ居住スル時間諸般ノ民権ヲ受ク可シ。	其住所ヲ設定スルコトヲ許サレタル外国人ハ其仏蘭西ニ居住スルコトヲ継続スル間ハ仏蘭西ニ於テ総テノ民権ヲ享有ス可シ。	ノ允許ヲ得タル外国人ハ仏蘭西ニ居住スル間総テノ私権ヲ得有ス可シ。
14	L'étranger, même non résidant en France, pourra être cité devant les tribunaux français, pour l'exécution des obligations par lui contractées en France avec un Français; il pourra être traduit devant les tribunaux de France, pour les obligations par lui contractées en pays étranger envers des Français.	外国人ノ仏蘭西ニ居住セザル者ト雖モ仏蘭西ニ於テ仏蘭西人ト結ヒタル契約ヲ行ハシム可キ為メ之ヲ仏蘭西ノ裁判所ニ呼出スコトヲ得可ク且其外国人ノ外国ニ於テ仏蘭西人ト結ヒタル契約ヲ行ハシム可キ為メ亦之ヲ仏蘭西ノ裁判所ニ呼出スコトヲ得可シ。	外国人ハ仏蘭西ニ居住セサル者ト雖トモ仏蘭西ニ於テ仏蘭西人ト契約シタル義務ノ執行ノ為メ仏蘭西ノ裁判所ニ呼出スコトヲ得可ク又外国人ノ外国ニ於テ仏蘭西人ニ対シテ契約シタル義務ノ為メ之ヲ仏蘭西ノ裁判所ニ召喚スルコトヲ得可シ。	外国人ハ仏蘭西ニ居住セサル者ト雖トモ仏蘭西ニ於テ仏蘭西人ト結ヒタル義務ノ執行ニ付仏蘭西ノ裁判所ニ召喚セラル可ク又外国人ハ外国ニ於テ仏蘭西人ト結ヒタル義務ニ付キ仏蘭西ノ裁判所ニ召喚セラル可シ。
15	Un Français pourra être traduit devant un tribunal de France, pour des obligations par lui contractées en pays étranger, même avec un étranger.	仏蘭西人ノ外国ニ於テ外国人ト結ヒタル契約ナリト雖トモ其契約ノ事ニ付キ其仏蘭西人ヲ仏蘭西ノ裁判所ニ呼出スコトヲ得可シ。	仏蘭西人ハ外国ニ於テ仮令外国人ト契約シタル義務ノ為メト雖トモ之ヲ仏蘭西ノ裁判所ニ召喚スルコトヲ得可シ。	仏蘭西人ハ外国ニ於テ結ヒタル義務ニ付テハ外国人ト結ヒタルトキト雖トモ仏蘭西ノ裁判所ニ召喚セラル可シ。
16	En toutes matières, autres que celles de commerce, l'étranger qui sera demandeur, sera tenu de donner caution	商業ニ管シタル事ノ外何事ヲ論セス仏蘭西ノ裁判所ニ訴ヲ為ス外国人ハ其訴訟ノ費用ヲ出シ及ビ償額ルヲ納ム可キ保証ヲ	商業ノ事項ノ外総テ如何ナル事項ニ於テモ原告人タル外国人ハ其訴訟ヨリ生スル費用及ヒ損害	商事ヲ除クノ外何事ヲ問ハス原告タル外国人ハ仏蘭西ニ於テ其訴訟ヨリ生スル費用及ヒ損害賠



16	pour le paiement des frais et dommages-intérêts résultant du procès, à moins qu'il ne possède en France des immeubles d'une valeur suffisante pour assurer ce paiement.	立ツ可シ。但シ其外人ノ若シ仏蘭西ニ於テ其納メ方ヲ証スニ足ル可キ不動産ヲ所有ト為ス時ハ格別ナリトス。	賠償ノ弁済ノ為メ保証人ヲ立ツ可シ。但シ其外人ノ仏蘭西ニ於テ其弁済ヲ確保スル為メニ充分ナル価額ノ不動産ヲ占有スル時ハ格別ナリトス。	償ヲ担保スルニ足ル可キ価額ノ不動産ヲ有セサル時ハ其弁済ノ為メ保証人ヲ立ツ可シ。
第2章	De la privation des droits civils.	民権ヲ奪フ事	民権ノ剝奪	私権ノ剝奪
第1款	De la privation des droits civils par la perte de la qualité de Français.	仏蘭西人タルノ分限ヲ失フニ因リ民権ヲ奪フ事	仏蘭西人タルノ分限ヲ失フニ依レル民権ノ剝奪	仏蘭西人タル資格ノ喪失ニ因ル私権ノ剝奪
17	La qualité de Français se perdra, 1° par la naturalisation acquise en pays étranger; 2° par l'acceptation non autorisée par l'Empereur (Roi (le Président de la République)), de fonctions publiques conférées par un gouvernement étranger; 3° enfin par tout établissement fait en pays étranger, sans esprit de retour. Les établissements de commerce ne pourront jamais être considérés comme ayant été faits sans esprit de retour.	仏蘭西人タルノ分限ハ左ニ記列スル諸件ニ因テ之ヲ失フ。 第一 外国ノ戸籍ニ入ル事 第二 皇帝ノ允許ナク外国政府ヨリ官職ヲ受ル事 第三 帰国スルノ意ナク外国ニ居住ヲ定ムル事 但シ商業ノ為メ外国ニ居住スル者ハ帰国スル意ナクシテ外国ニ居住セシ者ト看做可カラス。	仏蘭西人タルノ分限ハ左ノ諸件ニ依テ之ヲ失フモノトス 第一 外国ニ於テ獲得シタル帰化 第二 国王（共和国大統領）ノ許可ヲ得シテ外国政府ヨリ授与セラレタル公ケノ職務ヲ受諾スル事 第三 総テ帰国ノ意ナク外国ニ於テ為シタル定業 商業上ノ定業ハ決シテ帰国ノ意ス。ナクシテ為シタルモノト看做スコトヲ得ス。	仏蘭西人タルノ資格ハ第一外国ヘ入籍シタルコト第二国王ノ允許ヲ得シテ外国政府ヨリ任セラレタル公務ヲ受諾セシコト第三帰国ノ意ナク外国ニエタプリスマン」ヲ為セシコトニ因リ喪失ス可シ。＜外国ニエタプリスマン」ヲ為ストハ外国ニ駐マリテ或ハ資本ヲ益用シ或ハ商業工業ヲ営ミ或ハ芸術ヲ以テ生活スルコトヲ云フ＞商業ノ為メ「エタプリスマン」ヲ＜外国ニ＞為スハ決シテ帰国ノ意ナク之ヲ為シタリト看做ス可カラス。

18	<p>Le Français qui aura perdu sa qualité de Français, pourra toujours la recouvrer en rentrant en France avec l'autorisation de <u>l'Empereur</u> 《du Roi (du Président de la République)》, et en déclarant qu'il veut s'y fixer, et qu'il renonce à toute distinction contraire à la loi française.</p>	<p>仏蘭西人タルノ分限ヲ失ヒシ仏蘭西人皇帝ノ允許ヲ得テ仏蘭西ニ歸リ且仏蘭西ニ居住スルノ意ト仏蘭西ノ法ニ背キタル官位封爵ヲ放棄スルノ意トヲ陳述スルニ於テハ何レノ時ト雖モ仏蘭西人タルノ分限ヲ復スルコトヲ得可シ。</p>	<p>仏蘭西人タルノ分限ヲ失ヒシ仏蘭西人ハ国王（共和国大統領）ノ許可ヲ得テ仏蘭西ニ歸リ且ツ仏蘭西ニ其居住ヲ定メント欲スルコトト仏蘭西ノ法律ニ背キタル総テノ榮顯ヲ拋棄スルコトトヲ申述スルニ於テハ何時ニ限ラス仏蘭西人タルノ分限ヲ復スルコトヲ得可シ。</p>	<p>仏蘭西人タル資格ヲ喪失シタル仏蘭西人ハ常ニ国王ノ允許ヲ得テ仏蘭西ニ歸国シ仏蘭西ニ住所ヲ定ムルノ意旨ト仏蘭西ノ法律ニ反スル総テノ格位ヲ拋棄ス可キコトヲ陳述シテ其資格ヲ復スルヲ得。</p>
19	<p>Une femme français qui épousera un étranger, suivra la condition de son mari. Si elle devient veuve, elle recouvrera la qualité de Française, pourvu qu'elle réside en France, ou qu'elle y rentre avec l'autorisation de <u>l'Empereur</u> 《du Roi (du Président de la République)》, et en déclarant qu'elle veut s'y fixer.</p>	<p>外国人ニ嫁シタル仏蘭西ノ女ハ其夫ノ分限ニ從フ可シ。若シ其女ノ寡婦トナリタル時既ニ仏蘭西ニ居住シ或ハ仏蘭西ニ居住ヲ定ム可キコトヲ陳述シテ皇帝ノ允許ヲ受ケ仏蘭西ニ歸リシ時ハ仏蘭西人タルノ分限ヲ復ス可シ。</p>	<p>外国人ニ嫁シタル仏蘭西ノ女ハ其夫ノ景状ニ從フ可シ。若シ其女ノ寡婦トナリシ時仏蘭西ニ居住シ又ハ国王（共和国大統領）ノ許可ヲ受ケ仏蘭西ニ歸リテ仏蘭西ニ居住ヲ定メント欲スル旨ヲ申述スルニ於テハ仏蘭西人タルノ分限ヲ復ス可シ。</p>	<p>外国人ニ嫁シタル仏蘭西ノ女ハ夫ノ身分ニ從フ可シ。若シ寡婦ト為リタル時ハ現ニ仏蘭西ニ居住シ又ハ国王ノ允許ヲ得テ仏蘭西ニ歸国シ仏蘭西ニ住所ヲ定ムルノ意旨ヲ陳述シテ仏蘭西人タルノ資格ヲ復ス可シ。</p>
20	<p>Les individus qui recouvreront la qualité de Français, dans les cas prévus par les articles 10, 18 et 19, ne pourront s'en prévaloir qu'après avoir rempli les conditions</p>	<p>第十条第十八条第十九条ニ記載シタル場合ニ於テ仏蘭西人タルノ分限ヲ復ス可キ者ハ其数条ニ於テ必要ト為コトヲ定タル規則ヲ行フニ非レハ</p>	<p>第十条第十八条、第十九条ニ定メタル場合ニ於テ仏蘭西人タルノ分限ヲ復スル者ハ其数条ニ依リ負ハシメラレタル条件ヲ履行シタル後ニ非レハ其分限ヲ益</p>	<p>第十条第十八条第十九条ニ記シタル場合ニ於テ仏蘭西人タルノ資格ヲ復スル者ハ此数条ニ定メタル要件ヲ履踐</p>

20	<p>qui leur sont imposées par ces articles, et seulement pour l'exercice des droits ouverts à leur profit depuis cette époque.</p>	<p>仏蘭西人タル分限ノ利益ヲ得コト能ハズ且其規則ヲ行ヒシ時ノ後ニ於テ其受タル所ノ權ノミヲ行フコトヲ得可シ。</p>	<p>用スルコトヲ得ス且ツ其時期ヨリ後ニ自己ノ利益ノ為メニ開始シタル權利ノ執行ノ為メニ非レハ右ノ分限ヲ益用スルコトヲ得ス。</p>	<p>シタル後ニ於テ其利益ノ為メニ得タル權利ヲ執行スル為メニ非レハ其資格ヲ利用スルヲ得ス。</p>
21	<p>Le Français qui, sans autorisation de l'Empereur 《du Roi Président de la République》, prendrait du service militaire chez l'étranger, ou s'affilierait à une corporation militaire étrangère, perdra sa qualité de Français. Il ne pourra rentrer en France qu'avec la permission de l'Empereur 《du Roi (du Président de la République)》, et recouvrer la qualité de Français qu'en remplissant les conditions imposées à l'étranger pour devenir citoyen; le tout sans préjudice des peines prononcées par la loi criminelle contre les Français qui ont porté ou porterront les armes contre leur patrie.</p>	<p>皇帝ノ允許ヲ得ズシテ外国政府ノ兵籍ニ入り又ハ外国ノ兵社ニ加リシ仏蘭西人ハ仏蘭西人タルノ分限ヲ失フ可シ。 此仏蘭西人ハ皇帝ノ允許ヲ得ルノ外仏蘭西ニ帰ルコトヲ得可カラス且外国人ノ仏蘭西人トナルニ付キ必要ト為シタル規則ヲ行フニ非ザレハ仏蘭西人タルノ分限ヲ復スルコト能ハス但シ此条ニ記スル所ト国ニ叛キ兵器ヲ弄シ又ハ弄セントセシ仏蘭西人ヲ刑法ニ於テ罰ス可キ規則ト相抵触スルコトナカル可シ。</p>	<p>国王（共和国大統領）ノ許可ヲ得スシテ外国ニ於テ兵役ニ服シ又ハ外国ノ兵社ニ加ハリタル仏蘭西人ハ其仏蘭西人タルノ分限ヲ失フ可シ。 其仏蘭西人ハ国王（共和国大統領）ノ許可ヲ得ルニ非レハ仏蘭西ニ帰ルコトヲ得ス且ツ仏蘭西国士トナル為メニ外国人ニ負ハシメタル条件ヲ履行スルニ非サレハ仏蘭西人タルノ分限ヲ復スルコトヲ得ス。但シ国ニ叛キテ兵器ヲ携ヘ又ハ携ヘントスル仏蘭西人ニ對シ刑法ニ定メタル刑ト相触ルハコトナカル可シ。</p>	<p>国王ノ允許ヲ得スシテ外国ノ兵役ニ服シ又ハ外国ノ兵社ニ加ハリシ仏蘭西人ハ資格ヲ喪失ス可シ。 其仏蘭西人ハ国王ノ允許ヲ得ルニ非サレハ仏蘭西ニ帰国スルヲ得ス。且ツ外国人ニシテ国士トナルニ付キ必要トスル条件ヲ履踐スルニ非サレハ仏蘭西人タルノ資格ヲ復スルヲ得ス但シ本条ニ記スル所ト本國ニ叛キテ兵器ヲ弄シ又ハ弄セントスル仏蘭西人ニ對シテ刑法ニ定ムル刑ト相触ルコトナカル可シ。</p>

第2款	De la privation des droits civils par suite de condamnations judiciaires.	裁判所ニ於テ刑ヲ言渡シタルニ因リ民權ヲ奪フ事	裁判上ノ刑ノ言渡ニ依レル民權ノ剝奪（本節第二十二條ヨリ第三十三條ニ至ル迄ノ各條ハ千八百五十四年五月三十一日ノ法律ヲ以テ削除ス）	刑ノ言渡ニ因ル私權ノ剝奪
22	Les condamnations à des peines dont l'effet est de priver celui qui est condamné, de toute participation aux droits civils ci-après exprimés, emporteront la <i>mort civile</i> .	裁判所ニ於テ第二十五條ニ記載スル所ノ民權ニ参加ス可カラザルニ至ル可キ刑ノ言渡ヲ受シ時ハ准死<仏語ニ「モールシビール」ト云ヒ其人未タ死セスト雖モ法律上ニ於テ既ニ死タル者ト看做セシヲ云フ>ト為ス可シ。 （准死ハ千八百五十四年第五月三十一日ノ法ヲ以テ廢ス）	刑ヲ言渡サレタル者ノ総テ以下ニ記スル民權ニ参加スルノ權利ヲ剝奪スルノ効アル刑ヲ言渡シタル時ハ准死ヲ惹起ス可シ。	後條ニ記スル私權ニ参与ス可カラサル効果ヲ生ス可キ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニハ其言渡ニ由テ准死ヲ提起ス可シ。（准死ハ千八百五十四年五月三十一日決定同年六月三日布告ノ法律ニ依テ廢止ス）
23	La condamnation à la mort naturelle emportera la <i>mort civile</i> .	死刑ノ言渡ヲ受ケシヨリ准死ヲ生ス可シ。	死刑ヲ言渡シタル時ハ准死ヲ惹起ス可シ。	死刑ノ言渡ハ准死ヲ提起ス可シ
24	Les autres peines afflictives perpétuelles n'emporteront la <i>mort civile</i> qu'autant que la loi y aurait attaché cet effet.	其他無期ノ施体<刑法ニ詳ナリ>ノ刑ハ法律ヲ以テ別段ニ定メタル時ノ外准死ヲ生ス可カラズ。	其他ノ無期ノ施体ノ刑ハ法律ニ於テ准死ヲ惹起スルノ効ヲ附シタル時ニ非レハ准死ヲ惹起セス。	其他無期ノ施体ノ刑ハ法律ニ於テ准死ヲ提起ス可キノ効果ヲ附スル時ニ非サレハ准死ヲ提起セス。

25	<p>Par la mort <i>civile</i>, le condamné perd la propriété de tous les biens qu'il possédait: sa succession est ouverte au profit de ses héritiers, auxquels ses biens sont dévolus, de la même manière que s'il était mort naturellement et sans testament.</p> <p>Il ne peut plus ni recueillir aucune succession, ni transmettre, à ce titre, les biens qu'il a acquis par la suite.</p> <p>Il ne peut ni disposer de ses biens, en tout ou en partie, soit par donation entre-vifs, soit par testament, ni recevoir à ce titre, si ce n'est pour cause d'aliments.</p> <p>Il ne être nommé tuteur, ni concourir aux opérations relatives à la tutelle.</p>	<p>准死ノ言渡ヲ受ケン者ハ其言渡シニ因リ己レニ属スル物ヲ所有スルノ権ヲ失ヒ且遺囑ナク死タル者ト同一ノ方法ヲ用ヒ其者ノ所有物ヲ襲有ス可キ者ハ其遺物相続ヲ為スコトヲ得。○其者ハ人ノ遺物相続ヲ為スコトヲ得可カラス又准死ノ言渡ノ後ニ己レノ所得ト為シタル財産ヲ遺物相続ヲ為サシム可キノ名義ヲ以テ人ニ伝ヘ与ルコトヲ得ス。○其者ハ自己ノ所有スル財産ノ全部又ハ一部ヲ生存中ノ贈遺及ヒ遺囑ノ贈遺トシテ人ニ与フルコトヲ得ス又養料ノ為メノ外ハ生存中ノ贈遺及ヒ遺囑ノ贈遺ノ名義ヲ以テ人ヨリ財産ヲ受クルコトヲ得ス。○其者ハ幼者ノ後見人ノ任ヲ受ケ又ハ後見ノ職務ニ管シタル所為ニ参加スルコトヲ得ス。</p>	<p>刑ヲ言渡サレタル者ハ准死ニ依リ其占有スル総テノ財産ノ所有権ヲ失ヒ且ツ其者ノ遺囑ナクシテ死去シタル時ト同一ノ方法ニテ其相続人ノ利益ニ於テ財産相続ヲ開始シ其相続人ニ則テ移転ス可シ。其者ハ最早如何ナル財産相続ヲモ收取スルコトヲ得ス又准死ノ後ニ獲得シタル財産ヲ財産相続ノ名義ヲ以テ人ニ移転スルコトヲ得ス。其者ハ自己ノ財産ノ全部又ハ一部ヲ生存中ノ贈与ニ依リ若クハ遺囑ニ依リ処分スルコトヲ得ス又養料ノ為メニ非サレハ生存中ノ贈与又遺囑ノ名義ニテ財産ヲ收受スルコトヲ得ス。其者ハ後見人ニ任セラレハコトヲ得ス又後見ニ関シタル所為ニ参加スルコトヲ得ス。</p>	<p>被刑者ハ准死ニ因リ己レニ属スル総テノ財産ノ所有権ヲ喪失シ遺囑ヲ為スコト無ク実ニ死去セシト均シク其相続人ノ為メ相続ヲ開始シ被刑者ノ財産ハ悉ク之ニ属ス可シ。○又被刑者ハ何レノ相続ヲモ收受スルヲ得ス又准死ノ言渡後ニ獲得セシ財産ヲ相続ノ名義ニテ人ニ移転スルヲ得ス。○被刑者ハ生存中ノ贈遺又ハ遺囑ニ因テ財産ノ全部又ハ一部ヲ処分スルヲ得ス又養料ノ外贈遺又ハ遺囑ノ名義ニテ之ヲ收受スルヲ得ス。○被刑者ハ後見人トナルヲ得ス又後見事務ニ関スル所為ニ参加スルヲ得ス。</p>
----	---	---	---	--

25	<p>Il ne peut être témoin dans un acte solennel ou authentique, ni être admis à porter témoignage en justice. Il ne peut procéder en justice, ni en défendant, ni en demandant, que sous le nom et par le ministère d'un curateur spécial, qui lui est nommé par le tribunal où l'action est portée.</p> <p>Il est incapable de contracter un mariage qui produise aucun effet civil.</p> <p>Le mariage qu'il avait contracté précédemment est dissous, quant à tous ses effets civils. Son époux et ses héritiers peuvent exercer respectivement les droits et les actions auxquels sa mort naturelle donnerait ouverture.</p>	<p>○其者ハ照法ノ証又ハ公正ノ証ニ付キ其証人トナリ又ハ裁判所ニ証ヲ告ルコトヲ得ス。○其者ハ訴訟ヲ上告ス可キ裁判所ニ於テ此者ノ為メ別段ニ任シタル「キュラートル」《自己ノ財産ヲ支配スルコト能ハザル者ニ代リテ其財産ヲ支配スル者ヲ云フ》ノ紹介ニ因リ且其姓名ヲ用フルニ非サレハ原告又ハ被告トナリテ裁判所ニ出ルコトヲ得ス。○其者ハ民法ニ管シタル事ノ生ス可キ婚姻ノ契約ヲ為ス可カラズ。○其者ノ以前ニ結ヒタル婚姻ハ總テ民法ニ管シタル事ニ付キ其婚姻ヲ解キタルト看做ス可シ。○其者ノ配偶者及ヒ遺物相続人ハ其者ノ死去シタル時ニ於テ得可キ所ノ權ト訴ヲ為スノ權トヲ行フコトヲ得可ス</p>	<p>其者ハ有式又ハ公正ノ証書ニ於テ証人トナルコトヲ得ス。又裁判所ニ於テ証ヲ申告スルコトヲ許サス。其者ハ訴訟ヲ申告スル所ノ裁判所ヨリ其者ノ為メニ任シタル特別管財人ノ名前ニテ且ツ其紹介ヲ受クルニ非サレハ原告人又ハ被告人トナリテ裁判所ニ出ルコトヲ得ス。其者ハ民法上ノ効ヲ生スル婚姻ノ契約スルコト能ハス。其者ノ以前契約シタル婚姻ハ總テ其民法上ノ効ニ付テハ解分セラルルモノトス。其者ノ配偶者及ヒ相続人ハ其者ノ死去ノ為メニ開始ス可キ權利及ヒ訴權ヲ各自執行スルコトヲ得可シ。</p>	<p>○被刑者ハ端式証書【左訓ノアクトソランネール】又ハ公正証書ニ付キ証人タルヲ得ス又裁判所ニ於テ証擲ヲ陳述スルヲ得ス。○被刑者ハ訴訟ヲ為ス裁判所ヨリ任シタル別段ノ管財人ノ紹介ニ因リ且其氏名ヲ以テスルニ非サレハ原告又ハ被告ト為リテ裁判所ニ出廷スルヲ得ス。○被刑者ハ民法上ノ効果ヲ生スル婚姻ヲ結フヲ得ス。○被刑者ノ以前結ヒタル婚姻ハ解除シ總テ民法上ノ効果ヲ生セス。○配偶者及ヒ相続人ハ被刑者ノ實ノ死去ニ因テ生ス可キ權利及ヒ訴權ヲ互ニ行フヲ得。</p>
26	<p>Les condamnations contradictoires n'emportent la <i>mort civile</i> qu'à compter du jour de leur exécution, soit réelle, soit par effigie.</p>	<p>原告人ト被告人トノ面前ニ於テ刑ヲ言渡シタル時ハ其言渡ヲ受ケタル者ヲ其刑ニ行ヒシ日又ハ其罪案ノ摘擧書ヲ街衢ニ榜示シタル日ヨリ後ニ非サレハ准死ヲ生ス可カラズ。</p>	<p>刑ノ對審ノ言渡ハ其現實ノ執行若クハ肖像ニ依レル執行ノ日ヨリ起算スルニ非サレハ准死ヲ惹起セス。</p>	<p>刑ノ對審言渡ハ之ヲ現執行シ又ハ肖像ヲ以テ執行シタル日ヨリ後ニ非サレハ准死ヲ提起セス。</p>

27	Les condamnations par contumace n'emporteront la <i>mort civile</i> qu'après les cinq années qui suivront l'exécution du jugement par effigie, et pendant lesquelles le condamné peut se représenter.	裁判所ニ出席ス可キノ命ヲ受ケ出席ヲ為サズ又ハ逃亡シタルニ付キ刑ノ言渡ヲ受ケタル者アル時ハ其者ノ罪案ノ摘撮書ヲ街衢ニ榜示シタル日ヨリ五年ノ後ニ非サレバ准死ヲ生ス可カラズ。但シ其五年ノ時間ハ其刑ノ言渡ヲ受ケタル者裁判所ニ出席スルコトヲ得可シ。	刑ノ欠席ノ言渡ハ肖像ニ依レル裁判執行ノ時ヨリ五年ノ後ニ非サレハ准死ヲ惹起セス。但シ其五年ノ間ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者自カラ投首スルコトヲ得可シ。	刑ノ欠席言渡ハ肖像ヲ以テ裁判ノ執行ヲ為シタル日ヨリ五年ノ後ニ非サレハ准死ヲ提起セス此五年間ニハ被判刑者ノ欠席ノ裁判所ニ出廷スルヲ得。
28	Les condamnés par condamnés par contumace seront, pendant les cinq ans, ou jusqu'à ce qu'ils se représentent ou qu'ils soient arrêtés pendant ce délai, privés de l'exercice des droits civils. Leurs biens seront administrés et leurs droits exercés de même que ceux des absents.	裁判所ニ出席ス可キノ命ヲ受ケ出席ヲ為サズ又ハ逃亡シタルニ付キ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ハ其罪案ノ摘撮書ヲ街衢ニ榜示シタル日ヨリ五年ノ時間又ハ自カラ裁判所ニ出ル迄ノ時間又ハ其五年内ニ於テ捕獲ヲ受ル迄ノ時間民権ヲ行フ可キノ權ヲ奪ハル可ク且他人ニテ其者ノ財産ヲ支配シ及ビ其者ノ權ヲ行フ事ハ失踪者ノ此篇第四卷ニ詳ナリト同一タル可シ。	欠席シテ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ハ五年間又ハ其期限間ニ自カラ投首シ或ハ逮捕セララルニ至ル迄民権ノ執行ヲ剥夺セララル可シ。其者ノ財産ハ失踪者ノ財産ニ同シク之ヲ管理シ又其者ノ權利ハ失踪者ノ權利ニ同シク之ヲ執行ス可シ。	欠席被判刑者ハ五年間若クハ此期限内ニ出廷シ又ハ逮捕ヲ受ケル迄ハ私権ノ執行ヲ剥夺セララル可シ。○其財産ハ失踪者ノ財産ノ如ク之ヲ管理シ其權利ハ失踪者ノ權利ノ如ク之ヲ執行ス可シ。
29	Lorsque le condamné par contumace se présentera volontairement dans les cinq années, à compter du jour de l'exécution, ou lorsqu'il aura été saisi et constitué prisonnier dans ce	裁判所ニ出席ス可キノ命ヲ受ケ出席ヲ為サズ又ハ逃亡シタルニ付キ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ其罪案ノ摘撮書ヲ街衢ニ榜示セシ日ヨリ五年内ニ自己ノ意ヲ以テ裁判	欠席シテ刑ノ言渡ヲ受ケタル者力其執行ノ日ヨリ起算シテ五年内ニ其任意ニテ投首シタル時又ハ其期限内ニ逮捕セラレテ拘留ヲ受ケタル時ハ	欠席被判刑者執行ノ日ヨリ五年内ニ任意ニテ出廷シタル時又ハ此期限内ニ逮捕ヲ受ケ拘留セラレタル時ハ裁判言渡ノ欠席ノハ当然消滅シ被判刑者ノ財産ノ所有ヲ

29	<p>délai, le jugement sera anéanti de plein droit: l'accusé sera remis en possession de ses biens: il sera jugé de nouveau; et si, par ce nouveau jugement, il est condamné à la même peine ou à une peine différente, emportant également la <i>mort civile</i>, elle n'aura lieu qu'à compter du jour de l'exécution du second jugement.</p>	<p>所ニ出テタル時又ハ其五年内ニ捕獲ヲ受ケテ禁錮セラレタル時ハ前ニ言渡シタル刑ヲ全ク廢棄シ其刑ヲ受ケシ者己レニ属スル財産ヲ所有スルノ權ヲ復シ新タニ復タ裁判ヲ受ク可シ。若シ其裁判ニ因リ猶以前二等シキ准死ヲ生ス可キ刑ノ言渡ヲ受ケ又ハ其他ノ准死ヲ生ス可キ刑ノ言渡ヲ受ケシ時ハ其新ナル裁判ヲ行ヒシヨリ准死ヲ生ズ可シ。</p>	<p>其裁判ハ当然消滅シ其犯罪被告人ハ自己ノ財産ノ占有ヲ復シテ更ニ復タ裁判ヲ受ク可シ。若シ其再度ノ裁判ニ依リ更ニ同一ノ刑ヲ言渡サレ又ハ以前ノ刑ニ異ナルト雖トモ均シク准死ヲ惹起スル刑ヲ言渡サレタル時ハ其再度ノ裁判執行ノ日ヨリ起算スルニ非サレハ准死トナラサルモノトス。</p>	<p>復シ更ニ裁判ヲ受ク可シ。若シ此再度ノ裁判ニ因リ同一ノ刑又ハ均シク準死ヲ提起ス可キ他ノ刑ノ言渡ヲ受ケル時ハ再度ノ裁判執行ノ日ヨリ後ニ非サレハ準死ヲ提起セズ。</p>
30	<p>Lorsque le condamné par contumace, qui ne se sera représenté ou qui n'aura été constitué prisonnier qu'après les cinq ans, sera absous par le nouveau jugement, ou n'aura été condamné qu'à une peine qui n'emportera pas la <i>mort civile</i>, il rentrera dans la plénitude de ses droits civils, pour l'avenir, et à compter du jour où il aura reparu en justice; mais le premier jugement conservera, pour le passé, les effets que la <i>mort civile</i> avait produits dans l'intervalle écoulé depuis l'époque de l'expiration des cinq ans jusqu'au jour de sa comparution en justice.</p>	<p>若シ裁判所ニ出席ス可キノ命ヲ受ケ出席ヲ為サズ又ハ逃亡シタルニ付キ刑ノ言渡ヲ受ケタル者五年ノ後ニ至リ裁判所ニ出テ又ハ捕獲ヲ受ケ新ナル裁判ニ因リ其罪ノ赦宥ヲ得又ハ准死ヲ生スルニ至ラザル刑ノ言渡ヲ受ケシ時ハ其裁判所ニ出タル日ヨリ以來全ク其民權ヲ復ス可シ。然トモ其五年ノ期限ノ終リシ時ヨリ裁判所ニ出タル日ニ至ル迄ノ時間ニ准死ヨリ生シタル諸件ハ前ニ言渡シタル裁判ニ循ヒ之ヲ保ツ可シ。</p>	<p>欠席シテ刑ノ言渡ヲ受ケタル者カ五年ノ後ニ至リテ自カラ投首シ又ハ拘留ヲ受ケタル上ニテ再度ノ裁判ニ因リ放免セラレ又ハ准死ヲ惹起セサル刑ノミヲ言渡サレタル時ハ其裁判所ニ現出シタル日ヨリ起算シテ将来ニ付キ其民權ノ全部ヲ復ス可シ。然レトモ以前ノ裁判ハ其五年ノ期限ノ終リシ時期ヨリ其裁判所ニ出タル日ニ至ル迄ノ時間ニ准死ヨリ生シタル効ヲ既往ニ付キ保存ス可シ。</p>	<p>五年内ニ出廷セズ又ハ拘留セラレザル缺席被告人再度ノ裁判ニ因テ不論罪ノ言渡ヲ受ケ又ハ准死ヲ提起セサル刑ノ言渡ヲ受ケタル時ハ裁判所ニ出廷シタル日ヨリ全ク私權ヲ将来ニ復ス可シ。然レトモ初度ノ裁判言渡ハ五年ノ期限ノ尽キタル時ヨリ出廷ノ日ニ至ル迄ノ間ニ准死ヨリ生シタル効果ヲ既往ニ保持ス可シ。</p>



31	<p>Si le condamné par contumace meurt dans le délai de grâce des cinq années sans s'être représenté, ou sans avoir été saisi ou arrêté, il sera réputé mort dans l'intégrité de ses droits. Le jugement de contumace sera anéanti de plein droit, sans préjudice néanmoins de l'action de la partie civile, laquelle ne pourra être intentée contre les héritiers du condamné que par la voie civile.</p>	<p>若シ裁判所ニ出席ス可キノ命ヲ受ケ出席ヲ為サズ又ハ逃亡シタルニ付キ刑ノ言渡ヲ受ケシ者五年ノ宥免ノ期限内ニ裁判所ニ出ルコトナク又ハ捕獲ヲ受ルコトナク死シタル時ハ全ク其權ヲ有シタル儘ヲ以テ死シタル者ト為シ其裁判所ニ出席セザルニ付キ言渡ヲ受ケシ刑ハ全ク之ヲ廃棄ス可シ。但シ此規則ト其刑ノ言渡ヲ受ケシ者ニ償ヲ求ム可キ者ヨリ其死者ノ遺物相続人ニ対シ訴訟法ニ定メタル法式ニ循ヒ訴訟ヲ為ス可キ事ト相抵觸スルコトナカル可シ。</p>	<p>欠席シテ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ若シ其五年ノ特恩ノ期限内ニ自カラ投首セスシテ死去シ又ハ逮捕或ハ拘留セラレスシテ死去シタル時ハ其權利ノ全部ヲ有シタル儘ニテ死去セシ者ト看做ス可シ。○其欠席裁判ハ当然消滅ス可シ。然レトモ其欠席シテ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ相続人ニ対シ民事ノ方法ノミヲ以テ訴ヲ起スコトヲ得可キ民事原告人ノ訴權ト相觸ルコトナカル可シ。</p>	<p>欠席被刑者出廷スル事ナク又ハ逮捕拘留セラルハ事ナク五年ノ恩惠期限内ニ死去セシ時ハ權利ヲ全有シテ死去セリト看做シ欠席ノ言渡ハ当然消滅ス可シ。但シ此規則ト被刑者ノ相続人ニ対シテ私訴ノミヲ為スヲ得可キ民事原告人ノ訴權ト抵觸スルコトナカル可シ。</p>
32	<p>En aucun cas la prescription de la peine ne réintègrera le condamné dans ses droits civils pour l'avenir.</p>	<p>何レノ場合ニ於テモ裁判所ヨリ刑ノ言渡ヲ受ケタル後定期ノ時間ニ其刑ニ処セラルルコトナキ時ハ其刑ヲ免ルルニ至ルト雖モ其者ハ唯其刑ヲ免ルルコトヲ得ルノミニヨリ民權ヲ復スルコトヲ得可カラス。</p>	<p>如何ナル場合ニ於テモ刑ノ期滿効ハ其刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲシテ将来ニ付キ其民權ヲ回復セシメサルモノトス。</p>	<p>何レノ場合ニ於テモ被刑者刑ノ期滿免除ヲ得ルト雖トモ私權ヲ将来ニ復セサル可シ。</p>
33	<p>Les biens acquis par le condamné, depuis la mort civile encourue, et dont il se trouvera en</p>	<p>裁判所ヨリ刑ノ言渡ヲ受ケシ者ノ准死ヲ受ケタル後ニ所得ト為シタル物ヲ其者ノ</p>	<p>刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ准死ヲ受ケタル後ニ財産ヲ獲得シ其死去ノ日ニ之ヲ占有シタルニ於テ</p>	<p>被刑者准死ノ言渡後ニ獲得シ実ノ死去ノ日ニ於テ猶ホ所有スル財産ハ政府ノ相</p>

33	<p>possession au jour de sa mort naturelle, appartiendront à l'Etat par droit de déshérence. Néanmoins, il est loisible à l'Empereur 《Roi》 de faire, au profit de la veuve, des enfants ou parents du condamné, telles dispositions que l'humanité lui suggérera.</p>	<p>死シタル日ニ尚ホ所有シタル時ハ其者ノ人ニ遺物相続ヲ為サシム可キノ權ナキヲ以テ其物ヲ官ニ没収ス可シ。 然トモ皇帝ハ其刑ヲ受ケタル者ノ寡婦又ハ其兒又ハ其血屬等ノ為メ仁恤ノ処置ヲ為スコトヲ得可シ。</p>	<p>ハ其財産ハ相続人虧欠ノ權利ニ依リ國ニ屬ス可シ。 然レトモ國王ハ其刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ寡婦又ハ其子又ハ其血屬親ノ為メ仁恤ト思考スル如キ処分ヲ為スコトヲ得可シ。</p>	<p>続權ニ因テ政府ニ屬ス可シ。 然レトモ國王ハ被刑者ノ寡婦、子又ハ血屬ノ為メ仁恤ト思惟スル処置ヲ為スコトヲ得。</p>
第2卷	<p>Des actes de l'état civil. Décrété le 11mars 1803 ( 20 ventôse an XI) promulgué le 21 du même mois (20 ventôse an XI).</p>	<p>民生ノ証書（此証書ハ此卷ノ第二章第三章第四章ノ出産婚姻死去等ノ身上ニ管スル諸件ヲ第四十条ニ記載スル所ノ簿冊ニ記シタルモノヲ云ヒ其簿冊ノ外別ニ証書アルニ非サルナリ 〔千八百三年三月十一日決定同月廿一日布告〕</p>	<p>身分証書（千八百三年三月十一日決定同月廿一日宣令）</p>	<p>身分証書（千八百三年三月十一日決定同月二十一日頒布）</p>
第1章	Dispositions générales.	総規則	総則	総則
34	<p>Les actes de l'état civil énonceront l'année, le jour et l'heure où ils seront reçus, les prénoms, noms, âge, profession et domicile de tous ceux qui y seront dénommés.</p>	<p>民生ノ証書ニハ官吏ノ其証ノ陳述ヲ受ケタル年月日時ト其書ニ記ス可キ人ノ姓名、職業、住所トヲ記ス可シ。</p>	<p>身分証書ニハ之ヲ記シタル年月日時ト其証書ニ記載ス可キ各人ノ姓名、年齢、職業、住所トヲ表示ス可シ。</p>	<p>身分証書ニハ之ヲ記シタル年月日時ト其証書ニ記名ス可キ人ノ氏名年齢職業住所ヲ記載ス可シ。</p>
35	Les officiers de l'état civil ne pourront rien	民生ノ官吏ハ其証書中ニ出席ヲ為シタル	身分取扱役ハ其記スル証書ニ出	身分取扱役ハ其記スル証書ニ出

35	insérer dans les actes qu'ils recevront, soit par note, soit par énonciation quelconque, que ce qui doit être déclaré par les comparants.	者ノ陳述シタル所ノ外何事ヲ論セス註解又ハ説明ノ為メ記載スルコトヲ得可カラス。	席人ノ申述セサル可カラサル所ノモノ、外何事タリトモ註解若クハ附從ノ記載トシテ記入スルコトヲ得ス。	席人ノ陳述ス可キ事件ノ外註解又ハ説明トシテ何事ヲモ附記ス可カラス。
36	Dans les cas où les parties intéressées ne seront point obligées de comparaître en personne, elles pourront se faire représenter par un fondé de procuration spéciale et authentique.	本人ノ自カラ出席スルニ及ハサル場合ニ於テハ別段ノ公正ノ証書ヲ以テ任シタル名代人ヲ出スコトヲ得可シ。	関係各人ノ自カラ出席スルニ及ハサル場合ニ於テハ特別ニシテ且ツ公正ナル委任状アル代理人ヲシテ代理セシムルコトヲ得可シ。	本人自ラ出席スルニ及ハサル場合ニ於テハ別段ノ公正委任状ヲ以テ任シタル代理人ヲ出タスヲ得。
37	Les témoins produits aux actes de l'état civil, ne pourront être que du sexe masculin, âgés de vingt-un ans au moins, parents ou autres; et ils seront choisis par les personnes intéressées.	民生ノ証書ノ証人ハ本人ノ血属又ハ其他ノ者タルヲ問ハス二十一年以上ノ男ノミヲ用フ可シ。但シ其証人ハ本人ノ択ム所ニ從フ可シ。	身分証書ニ出ス所ノ証人ハ血属親タルト否トモ問ハス少クトモ二十一年ノ年齢ノ男ニ限ル可シ。但シ其証人ハ関係各人ニ於シ之ヲ択ム可シ。	身分証書ノ証人ハ本人ノ血属タルト否トモ問ハス二十一年以上ノ男ニ限ル可シ。且ツ其証人ハ本人之ヲ選択ス可シ。
38	L'officier de l'état civil donnera lecture des actes aux parties comparantes, ou à leur fondé de procuration, et aux témoins. Il y sera fait mention de l'accomplissement de cette formalité.	民生ノ官吏ハ其証書ヲ出席ヲ為シタル者及ヒ証人ニ読ミ聞カス可シ。又其証書ニ其書ヲ読ミ聞セタル式ヲ行ヒシコトヲ記載ス可シ。	身分取扱役ハ出席人又ハ其代理人ト証人トニ其証書ヲ読ミ聞カス可シ。其証書ニハ右ノ法式ヲ履行シタル旨ヲ記ス可シ。	身分取扱役ハ出席人若クハ代理人及ヒ証人ニ証書ヲ読ミ聞カス可シ。又証書ニハ其法式ヲ履踐シタル旨ヲ附記ス可シ。
39	Ces actes seront signés par l'officier de l'état	此証書ニハ民生ノ官吏ト出席ヲ為シタル	其証書ハ身分取扱役ト出席人及	其証書ニハ身分取扱役、出席人

39	civil, par les comparants et les témoins: ou mention sera faite de la cause qui empêchera les comparants et les témoins de signer.	者及ヒ証人トニテ其姓名ヲ手署ス可シ。又其出席ヲ為シタル者及ヒ証人ノ其姓名ヲ手署スルコト能ハサル時ハ其旨ヲ記載ス可シ。	ヒ証人トニテ署名ス可シ。若シ其出席人及ヒ証人ノ署名スルコト能ハサル時ハ其原由ヲ記ス可シ。	及ヒ証人手署ス可シ。若シ出席人及ヒ証人手署スル能ハサル時ハ其事由ヲ附記ス可シ。
40	Les actes de l'état civil seront inscrits, dans chaque commune, sur un ou plusieurs registres tenus doubles.	民生ノ証書ハ各「コムミューン」＜仏蘭西ノ地ヲ区分シタル小一部分ノ名＞ニ於テ副本ヲ添ヘタル一冊又ハ數冊ノ簿冊ニ記ス可シ。	身分証書ハ各邑ニ於テニ通ツハ設ケタル一箇又ハ數箇ノ簿冊ニ之ヲ記入ス可シ。	身分証書ハ各邑ニ於テ一箇又ハ數箇ノ簿冊ニ登記ス可シ。但シ簿冊ハ各二冊ヲ備フ可シ。
41	Les registres seront cotés par première et dernière, et paraphés sur chaque feuille, par le président du tribunal de première instance, ou par le juge qui le remplacera.	其簿冊ハ下等裁判所ノ上席人又ハ其上席人ニ代ル可キ裁判役其初葉ト冊尾トニ記号ヲ附シ且各葉ニ其姓名ノ手署ニ代用スル横線ヲ画ス可シ。	其簿冊ハ始審裁判所長又ハ之ニ代ハル可キ裁判官其初ト終トニ番号ヲ附シ且ツ各葉ニ花押ヲ附ス可シ。	其簿冊ハ始審裁判所長又ハ代リテ職務ヲ執ル裁判官初葉ヨリ末葉トニ迄記号ヲ附シ且ツ各葉ニ手署ニ代用スル横線ヲ画ス可シ。
42	Les actes seront inscrits sur les registres, de suite, sans aucun blanc. Les ratures et les renvois seront approuvés et signés de la même manière que le corps de l'acte. Il n'y sera rien écrit par abréviation, et aucune date ne sera mise en chiffres.	民生ノ証書ハ其簿冊ニ空行ナク相連接シテ之ヲ記ルシ且塗抹及ヒ端書ノ符号モ本文ト同ク之ヲ承諾シテ其姓名ヲ手署ス可シ。又其書中ニ略語ヲ用フ可ラス且其年月日時ハ數字ヲ用ヒ記ス可ラス。	証書ハ其簿冊ニ毫モ空白ナク相連接シテ之ヲ記入ス可シ。○塗抹及ヒ端書ハ証書ノ本文ト同ク之ヲ承認シテ署名ス可シ。○其証書中ニ略語ヲ記ス可ラス又其日附ハ數字ヲ以テ記ス可ラス。	証書ハ簿冊ニ空行ナク連続シテ登記ス可シ。塗抹及ヒ欄外ノ附記モ証書ノ本文ト均シク之ヲ認視シ之ニ手署ス可シ。且ツ証書中略語ヲ用フ可ラス。又數字ヲ以テ日附ヲ記ス可ラス。
43	Les registres seront clos et arrêtés par l'officier de l'état civil, à la fin de	民生ノ官吏ハ歳終ニ至ル毎ニ其簿冊ヲ修整シテ一月内ニ其一冊ヲ「コムミューン」ノ書房中ニ藏メ	身分取扱役ハ毎年ノ末ニ其簿冊ヲ完了シ且ツ終結ノ旨ヲ記シテ一月内ニ其一通	身分取扱役ハ毎年ノ末ニ簿冊ヲ終結シ一箇月内ニ其一冊ヲ邑ノ旧

43	chaque année; et dans le mois, l'un des doubles sera déposé aux archives de la commune, l'autre au greffe du tribunal de première instance.	又一冊ヲ下等裁判所ノ書記局ニ蔵ム可シ。	ヲ邑ノ旧記庫ニ蔵メ他ノ一通ヲ始審裁判所ノ書記局ニ蔵ム可シ。	記庫ニ蔵メ他ノ一冊ヲ始審裁判所ノ書記局ニ納ム可シ。
44	Les procurations et les autres pièces qui doivent demeurer annexées aux actes de l'état civil, seront déposées, après qu'elles auront été paraphées par la personne qui les aura produits, et par l'officier de l'état civil, au greffe du tribunal, avec le double des registres dont le dépôt doit avoir lieu audit greffe.	名代人ヲ任スル証書及ヒ其他民生ノ証書ニ添ヘ置ク可キ書類ハ之ヲ出シタル人ト民生ノ官吏トニテ其姓名ヲ手署スルニ代用スル横線ヲ画シタル後民生ノ証書ノ簿冊ノ一冊ト共ニ之ヲ下等裁判所ノ書記局ニ蔵ム可シ。	身分証書ニ添ヘ置カサル可カラサル委任状及ヒ其他ノ証拋物ハ之ヲ差出シタル人ト身分取扱役トニテ花押ヲ附シタル後身分証書ノ簿冊中ノ一通ト共ニ之ヲ始審裁判所ノ書記局ニ蔵ム可シ。	身分証書ニ添ヘ置ク可キ委任状及ヒ其他ノ証書類ハ之ヲ出シタル者ト身分取扱役トニテ手署ニ代用スル横線ヲ画シタル後簿冊ト共ニ書記局ニ納ム可シ。
45	Toute personne pourra se faire déli rer, par les dépositaires des registres de l'état civil, des extraits de ces registres. Les extraits délivrés conformes aux registres, et légalisés par le président du tribunal de première instance, ou par le juge qui le remplacera, feront foi jusqu'à inscription de faux.	何人ヲ論セス民生ノ証書ヲ記シタル簿冊ヲ管守スル者ヨリ其簿冊ノ抄出書ヲ得ルコト能フ可シ。但シ此抄出書ノ其簿冊ト異ナリタルコトナク且ツ下等裁判所ノ上席人又ハ其上席人ニ代ル可キ裁判役ノ確的ナリト為シタルモノハ廣造タルコトヲ訴フルノ書ヲ出ス迄之ヲ真正ナリト為ス可シ。	何人ニ限ラス身分証書簿冊ノ受託者ヨリ其簿冊ノ抜書ヲ受取ルコトヲ得可シ。○其抜書ハ簿冊ニ違フコトナク且ツ始審裁判所長又ハ之ニ代ル可キ裁判官ノ確的ナリト認メタル時ハ偽造ノ訴アルニ至ル迄証憑ト為ス可シ。	何人ト雖トモ身分証書ノ簿冊看守人ヨリ其抜書ヲ請取ルコトヲ得、請取りタル抜書ハ簿冊ニ異なる所無ク且ツ始審裁判所長又ハ代リテ職務ヲ執ル裁判官其公正ナルコトヲ認ムル時ハ偽造ノ訴アル迄之ヲ真正ノモノトス可シ。
46	Lorsqu' il n' aura pas existé de registres, ou qu' ils seront perdus, la preuve en sera reçue tant par titres que par	其簿冊ノ未タアラサル時又ハ亡失セシ時ハ其本人ヨリ証書又ハ証人ヲ以テ其由ヲ証スルコトヲ得可シ。	簿冊ノ存在セス又ハ之ヲ失ヒシ時ハ証券並ニ証人ヲ以テ其旨ヲ証スルコトヲ得可ク且ツ此場合	若シ簿冊ノ存在セス又ハ滅失シタル時ハ証券又ハ証人ヲ以テ之ヲ証スルヲ得此場合ニ於テハ死

46	témoins; et dans ces cas, les mariages, naissances et décès, pourront être prouvés tant par les registres et papiers émanés des pères et mères décédés, que par témoins.	但シ此場合ニ於テハ死シタル父母ノ記シタル簿冊及ヒ書面又ハ証人ヲ以テ婚姻、出産、死去ヲ証スルコトヲ得可シ。	ニ於テハ死去セシ父母ヨリ出タル簿冊及ヒ書面并ニ証人ヲ以テ婚姻、出産、死去ヲ証スルコトヲ得可シ。	去シタル父母ノ記シタル簿冊及ヒ書面又ハ証人ヲ以テ婚姻、出産、死去ヲ証スルヲ得。
47	Tout acte de l'état civil des Français et des étrangers, fait en pays étranger, fera foi, s'il a été rédigé dans les formes usitées dans ledit pays.	仏蘭西人又ハ外国人ノ外国ニ於テ記シタル民生ノ証書ヲ其国ニ於テ用フル所ノ体裁ニ循ヒ記シタル時ハ之ヲ真正ノモノト為ス可シ	凡ソ外国ニ於テ記シタル仏蘭西人及ヒ外国人ノ身分証書ハ其国ニ於テ用フル所ノ法式ヲ以テ記シタル時ハ証憑ト為ス可シ。	外国ニ於テ記シタル仏蘭西人及ヒ外国人ノ身分証書ハ其国ニ於テ用フル法式ニ從テ記シタル時ハ之ヲ真正ノモノトス。
48	Tout acte de l'état civil des Français en pays étranger sera valable, s'il a été reçu, conformément aux lois françaises, par les agents diplomatiques ou par les consuls.	外国ニ在ル仏蘭西人ノ民生ノ証ハ仏蘭西ノ弁理公使又ハ岡士【左訓ノコンシュル】ノ仏蘭西ノ法ニ循ヒ其陳述ヲ受ケ之ヲ記シタル時法ニ適シタルモノト為ス可シ。	凡ソ外国ニ在ル仏蘭西人ノ身分証書ハ外交官又ハ領事ノ仏蘭西ノ法律ニ從ヒ之ヲ記シタル時ハ有効タル可シ。	外国ニ在ル仏蘭西人ノ身分証書ハ仏蘭西ノ法律ニ從ヒ外交官又ハ領事之ヲ記シタル時ハ有効ナリトス。
49	Dans tous les cas où la mention d'un acte relatif à l'état civil devra avoir lieu en marge d'un autre acte déjà inscrit, elle sera faite à la requête des parties intéressées, par l'officier de l'état civil, sur les registres courants ou sur ceux qui auront été déposés aux archives de la	民生ノ証ヲ其以前ニ記シタル他ノ民生ノ証書ノ端ニ登記ス可キ時ハ其本人等ノ願ヲ以テ民生ノ官吏ハ其現今用フル所ノ簿冊又ハ既ニ「コムミューン」ノ書房中ニ蔵メシ簿冊ニ之ヲ登記シ又下等裁判所ノ書記官ハ既ニ其書記局ニ蔵メシ簿冊ニ之ヲ登記ス可シ。但シ下等裁判所ノ書記局	既ニ記入シタル身分証書ノ端ニ更ニ身分ニ関スル証書ヲ記載セサル可カラサル総テノ場合ニ於テハ關係各人ノ求ニ依リ身分取扱役ハ其現用ノ簿冊又ハ邑ノ旧記庫中ニ蔵メタル簿冊ニ之ヲ記載シ又始審裁判所ノ書記ハ其書記局ニ蔵メタル簿冊ニ之ヲ記載	既ニ登記シ簿冊ニシタル証書ノ欄外ニ身分ニ関スル証書ヲ附記ス可キ場合ニ於テハ本人ノ要メニ因テ身分取扱役ハ其年ノ簿冊又ハ邑ノ旧記庫ニ蔵メタル簿冊ニ其附記ヲ為シ始審裁判所書記ハ書記局ニ納

49	commune, et par le greffier du tribunal de première instance, sur les registres déposés au greffe: à l'effet de quoi l'officier de l'état civil en donnera avis, dans les trois jours, au procureur du Roi près ledit tribunal, qui veillera à ce que la mention soit faite d'une manière uniforme sur les deux registres.	二蔵メシ簿冊ニ其登記ヲ為サシム可キカ為メ民生ノ官吏ヨリ其裁判所ニ出ツ可キ「プロキュリウル、アンペリアル」<法ノ施行国ノ安寧等ノ事ヲ監察スル為メ政府ヨリ任シタル裁判所ノ官吏ヲ云フ>ニ三日内ニ其報告ヲ為シ其「プロキュリウル、アンペリアル」ハ二箇ノ簿冊ニ互ニ同一ノ方法ヲ以テ登記ス可キコトヲ監察ス可シ。	ス可シ。但シ之レカ為メニハ身分取扱役ヨリ始審裁判所ノ検事ニ三日内ニ其旨ヲ報告シ該検事ハ二箇ノ簿冊ニ同一ノ方法ヲ以テ其記載ヲ為ス可キコトヲ監視ス可キモノトス。	メタル簿冊ニ其附記ヲ為ス可シ。書記局ニ納メタル簿冊ニ其附記ヲ為スニ付身分取扱役ハ三日内ニ始審裁判所ノ検事ニ其通知ヲ為シ検事ハ二箇ノ簿冊ニ同一ノ方法ヲ以テ附記ス可キコトヲ監督ス可シ。
50	Toute contravention aux articles précédents de la part des fonctionnaires y dénommés, sera poursuivie devant le tribunal de première instance, et punie d'une amende qui ne pourra excéder cent francs.	前数条ニ記載スル所ノ官吏等ノ其規則ニ背ク事アル時ハ下等裁判所ヘノ訴訟ヲ受ケ百「フランク」<一「フランク」ハ大凡我十二匁ニ当ル>ニ過サル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ。	前数条ニ記シタル官吏ノ其成規ニ違背シタル時ハ始審裁判所ヘノ訴訟ヲ受ケ百「フランク」ニ過クルコトヲ得サル罰金ニ処セラル可シ。	前数条ニ記スル官吏其規則ニ違背スル時ハ始審裁判所ニ告発セラレ百「フランク」以下ノ罰金ノ言渡ヲ受ク可シ。
51	Tout dépositaire des registres sera civilement responsable des altérations qui y surviendront, sauf son recours, s'il y a lieu, contre les auteurs desdites altérations.	簿冊ヲ管守スル官吏ハ其簿冊中ニ更改シタルコトアル時訴訟法ニ循ヒ其責ニ任ス可シ。但シ他ニ其更改ヲ為ス者アリテ其官吏ヨリ其者ニ対シ償ヲ求ム可キ道理アル時ハ其償ヲ求ムルコトヲ得可シ。	凡ソ簿冊ノ受託者ハ其簿冊中ニ生シタル變更ニ付キ民事上ニテ其責ニ任ス可シ。但シ別段ノ理由アル時ハ其受託者ヨリ右ノ變更ヲ為シタル者ニ対シテ償還ヲ請求スルコトヲ得可キモノトス。	簿冊ノ看守人ハ簿冊中ニ生シタル變更ニ付キ民法上ノ責ニ任ス可シ。但シ他ニ其變更ヲ為シタル者アル時ハ之ニ対シテ其償ヲ要ム可シ。
52	Toute altération, tout faux dans les actes de	民生ノ証書ヲ更改スル事及ヒ其証書ヲ贋	総テ身分証書ヲ變更シ又ハ之ヲ	身分証書ヲ變更偽造シ又ハ之ヲ

52	l'état civil, toute inscription de ces actes faite sur une feuille volante et autrement que sur les registres à ce destinés, donneront lieu aux dommages-intérêts des parties, sans préjudice des peines portées au Code pénal.	造スル事又ハ其証書ヲ零紙【左訓ノハカミ】ニ記シ及ヒ其証書ヲ記ス可キ簿冊ニ非サルモノニ記ルシタル事アル時ハ其官吏ヨリ本人ニ対シ其償ヲ出ス可シ。但シ此規則ト刑法ニ記載スル所ノ罰ト相抵触スルコトナカル可シ。	偽造シ又ハ之ヲ零紙ニ記入シ及ヒ其特設ノ簿冊上ニ為スヨリ更ニ他ノ方法ヲ以テ之ヲ記入シタル時ハ關係各人ニ損害賠償ヲ為ス可シ。但シ刑法ニ記シタル刑ト相触ルハコトナカル可シ。	零紙若クハ登記ス可キニ非サル簿冊ニ登記シタル時ハ之ヲ為シタル者本人ニ対シ損害ノ賠償ヲ為ス可シ。但シ此規則ト刑法ニ定ムル刑ト抵触スルコトナカル可シ。
53	Le procureur <u>impér.</u> «du Roi (procureur de la République)» au tribunal de première instance sera tenu de vérifier l'état des registres lors du dépôt qui en sera fait au greffe: il dressera un procès-verbal sommaire de la vérification, dénoncera les contraventions ou délits commis par les officiers de l'état civil, et requerra contre eux la condamnation aux amendes.	下等裁判所ニ出ツ可キ「プロキュリウル、アンベリアル」ハ簿冊ヲ其裁判所ノ書記局ニ蔵ムル時其簿冊ヲ檢視シ其檢視シタル事ヲ簡易ニ調書ニ記シ且民生ノ官吏ノ規則ニ背キタル事又ハ罪犯ノアル時ハ其旨ヲ陳述シテ其官吏ニ罰金ヲ言渡ス可キ事ヲ求ム可シ。	始審裁判所ノ検事ハ身分証書ノ簿冊ヲ書記局ニ蔵ムル時其簿冊ノ景状ヲ調査シテ其調査ノ簡略ナル調書ヲ作り若シ身分取扱役ノ犯シタル違警罪又ハ輕罪アル時ハ之ヲ告発シ其身分取扱役ニ対シテ罰金ヲ言渡ス可キ事ヲ求ム可シ。	始審裁判所ノ検事ハ書記局ニ簿冊ヲ納ムル時其状況ヲ審査シ簡單ニ其審査ノ調書ヲ記シ身分取扱役ノ犯シタル違警罪又ハ輕罪ヲ告発シ之ニ対シテ罰金ノ言渡ヲ要ム可シ。
54	Dans tous les cas où un tribunal de première instance connaîtra des actes relatifs à l'état civil, les parties intéressées pourront se pourvoir contre le jugement.	何レノ場合ニ於テモ下等裁判所ニ於テ民生ノ証書ノ事ヲ審判シタル時其本人等ノ其言渡ニ服セサルニ於テハ其裁判所ノ審判ヲ更ニ上等裁判所ニ訴出ルコトヲ得可シ。	始審裁判所ニ於テ身分ニ關スル証書ニ付キ審判シタル総テノ場合ニ於テ關係各人ハ其裁判ニ対シテ上訴スルコトヲ得可シ。	始審裁判所ニ於テ身分ニ關スル証書ニ付キ審判ヲ為ス総テノ場合ニ於テ本人ハ其裁判ニ対シテ上告ヲ為スヲ得。



〔使用文献〕

Hippolyte Féréol Rivière “*Codes Français*” onzième édition (1883) 東京大学法学部図書室蔵 箕作麟祥旧蔵本／M.P.Royer-Collard “*Les Codes Français*” (1868) 東京大学総合図書館蔵 箕作麟祥旧蔵本／加太邦憲・中村健三共訳『仏蘭西民法』巻1 1883年刊（復刻版による 2006年 信山社）／箕作麟祥訳 辻士革校『仏蘭西法律書 民法』巻1 1870年刊（国立国会図書館 近代デジタルライブラリーで公開されているものによる）／箕作麟祥訳『増訂仏蘭西法律書』上 1883年刊（近代デジタルライブラリーで公開されているものによる）

〔付記〕

・本稿は平成二十七年度日本学術振興会科学研究費補助金（特別研究員奨励費）による成果の一部である。

（なぐも ちかこ 大学院人文社会系研究科 博士課程3年）